発刊日　令和８年 10 月１日

奈良体育学会会報

第 98 号　　発行　奈 良 体 育 学 会

事務局：　天理大学体育学部　梅﨑さゆり研究室（〒632-0071　天理市田井庄町 80）
https://nspehss.org/　　narajimukyoku@nspehss.org

学会大会案内号

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 寺田　和史（天理大学）

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、奈良体育学会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、今年度の奈良体育学会大会は、11 月 22 日（日）に奈良女子大学を会場として開催いたします。開催にあたりましては、奈良女子大学の関係者の皆様にご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。学会大会は、日頃の研究成果を発表するとともに、会員相互に意見を交換する貴重な学術交流の機会です。また、学生・大学院生の皆さんにとっても、自らの研究を発表し、さまざまな分野の研究者から学ぶことのできる大切な場となります。ぜひ多くの会員の皆様にご参加、ご発表いただき、活発な交流の機会としていただければ幸いです。

今年度の学会大会でのシンポジウムは、「体育・スポーツ系大学院は誰を育てるのか？：多様な入学者、学び、キャリア形成のこれから」としております。今回は、奈良女子大学、奈良教育大学、天理大学の 3 大学にご協力をいただき、それぞれの大学院修了後にさまざまな分野で活躍されている方々、そして大学院教育に携わっておられる教員の方々をお招きします。修了生の「生の声」を手がかりに、これからの体育・スポーツ系大学院に求められる人材育成のあり方やキャリア形成について議論を深めたいと考えております。本シンポジウムが、大学院生や進学を考えている学生の皆さん、大学院教育に携わる会員の皆様はもちろん、体育・スポーツの現場をはじめ社会のさまざまな場で活躍する方々にとっても、大学院で学ぶことの意義や、これからの人材育成のあり方を考える機会となれば幸いです。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、活発な議論と交流の場としていただきますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、近年、極端な気象による災害をはじめ、さまざまな自然災害が各地で発生しております。会員の皆様におかれましては、くれぐれも安全と健康にご留意いただき、日々お健やかにお過ごしくださいますようお祈り申し上げます。今後とも奈良体育学会の活動に対しまして、変わらぬご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和８年度奈良体育学会大会に関するお知らせ

令和８年度奈良体育学会大会につきましては、現地（対面形式）での開催を予定しております。

＜開催要領＞

期　日：令和８年 11 月 22 日（日）

会　場：奈良女子大学 N 棟 302 教室（奈良県奈良市北魚屋西町）

時　程：12:00～　受付　／　12:30～　総会、一般発表、シンポジウム
※演題数等により時間変更や会場追加の可能性があります。午前中から行う場合もあります。
※終了後、懇親会を予定しています。

＜一般発表＞

一般発表はすべてパワーポイント（スライド）による口頭発表とします。

＜シンポジウム＞

タイトル：

体育・スポーツ系大学院は誰を育てるのか？：多様な入学者、学び、キャリア形成のこれから

テ ー マ ：

奈良県にある体育・スポーツ系大学院ではどのような人材育成が求められるのかを考える。

趣　　旨：

現代において、大学院の存在意義とは何だろうか。文部科学省は、大学院教育は「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」、「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」、「確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員の養成」及び「知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の養成」という４つの人材養成機能を担うと示している。現在、奈良県内においては、奈良女子大学、奈良教育大学、天理大学の３大学が、それぞれの特色や強みを活かした大学院教育を展開し、上記のような文科省の指針にそった人材養成に取り組んでいる。

本シンポジウムでは、これまでの体育・スポーツ系大学院が具体的にどのような人材を養成してきたのか、また修了生たちの学びを現在のキャリア形成にどのように活かしているのか、その現状に迫っていきたい。当日は、それぞれの分野で活躍をしている方々を迎え、大学院でのリアルな経験談とともにそこでの学びの活かし方について語っていただく。そうした「生の声」を手がかりに、これからの体育・スポーツ系大学院教育に何が求められるのか、その課題と展望について、大学院教員を交えて議論を深めていきたい。

登壇予定者：

各分野で活躍している大学院修了生（奈良教育大学大学院、奈良女子大学大学院、天理大学大学院）および各大学院において研究、教育に関わっている教員。

＜参加申込・発表申込＞

「一般発表」申込期限：令和８年 10 月 30 日（金）17:00

「事前参加」申込期限：令和８年 11 月 13 日（金）17:00　　※当日参加も受け付けます。

「一般発表」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。一般発表の申込をされた方は、必ず併せて事前参加申込も行ってください。

「事前参加」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。

学会大会申込み（参加・発表）ページ：　https://nspehss.org/taikai/taikaiform

令和８年度奈良体育学会大会専用メールアドレス（大会事務局）：　nara-taikai@nspehss.org

参 加 費：一昨年度より、会員の大会参加費は無料となっています。会員外の方は参加費 1,000 円をいただきます（当日申し受けます）。

＜発表申込様式など＞

＊研究発表をされる方（筆頭演者）は奈良体育学会会員（一般・学生）に限ります。共同発表者には会員資格は必要ありません。

＊**奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。**

＊発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、研究年報に抄録の投稿をお願いします（必須）。また、可能な限り発表内容の「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。

＜学生・若手研究奨励賞＞

学会大会では、平成 30 年度より学生および若手研究者の研究を奨励することを目的として、学生・若手研究奨励賞を設けています。学会大会において行われた一般研究発表を審査対象とし、対象者は、大学院、学部に所属する学生・研究生の正会員、または年齢が 30 歳以下の正会員で、当該発表のファースト・オーサーとなっています。令和 5 年度より、副賞を贈呈することとなりました。学部生、大学院生、その他条件に該当する若手研究者の皆様の積極的な発表申込をお願いします。

＜プログラム詳細・大会要項など＞

詳細なプログラムの内容や学会大会要項等につきましては､学会 HP 及び次回会報でご案内致します。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格を持つ者に限ります。

なお、研究年報は令和 5 年度よりオープン・ジャーナルといたしました。学会 HP にアップロードしますので、会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。冊子での配布は行っていません。また、学会活動(会報)、会則、内規等につきましては、学会 HP にて閲覧してください。

締　切：令和 9 年 1 月 29 日(金) 17：00

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 天理大学 梅﨑さゆり宛 (E-mail：narajimukyoku@nspehss.org)

＜誌上発表論文書式＞

＊A4 用紙、40 字×40 行、一段組、図表ともで 4～6 枚、上下左右の余白を 20mm としてください。
（詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。）

＊原稿は Word とそれを PDF 形式で保存した 2 種類のファイル(Word と PDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則として PDF ファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示が必要な方につきましては、PDF 版においてはカラーでの掲載が可能ですが、国立国会図書館等に収蔵する冊子版については原則としてグレースケールでの掲載となりますので、ご承知おきください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育・スポーツ・健康学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

＜発表抄録書式(今年度の大会発表者用)＞

用紙 A4 で 1 枚（図表込み)、本文は 2 段組でお願いします。文字フォントは、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード（9 ポイント）を所属と本文の間に 3 語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記の URL にあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は＜誌上発表論文書式＞と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット：　https://nspehss.org/kenkyu-nenpo

理事会報告

Ⅰ．令和 8 年度　奈良体育学会第 1 回理事会議事録

日　時：2026 年 5 月 18 日（月）18:00～19:00
場　所：天理大学体育学部キャンパス　6 号棟 1 階会議室
出席者：石坂友司、井上邦子、梅﨑さゆり、笠次良爾、田里千代、立正伸、寺田和史、中谷敏昭、
　　星野聡子、松井良明（五十音順・敬称略）
欠席者：高橋豪仁、成瀬九美

〇報告事項
1.　令和 8-9 年度役員選挙結果
　Web 投票とした。投票者数 20 人（有効投票総数：理事選挙 132 票、会計監査選挙 40 票）

＜理事候補 7 名＞（得票数順・敬称略）
寺田和史 12 票、中谷敏昭 12 票、石坂友司 11 票、田里千代 10 票、梅﨑さゆり 9 票、
井上邦子 8 票、星野聡子 6 票
次点　北澤太野、松山尚道、笠次 良爾、稲葉 慎太郎 6 票
※ 理事選挙では、5 名の方が得票数 6 票で並んだ。そこで、井上学会長の立ち合いのもと、奈良体育学会選挙細則第 4 条に基づく選挙管理委員会による厳正なる抽選（くじ引き）の結果、星野聡子氏が当選となった。

＜会計監査候補 2 名＞（得票数順・敬称略）
北澤太野 2 票、藤原素子 2 票
次点 稲葉慎太郎、西田円、笠次良爾、筑紫智行、山本大輔、塚本順子、大高千明 2 票
※ 会計監査選挙では、得票数 3 票の星野聡子氏、得票数 2 票の寺田和史氏、石坂友司氏、田里千代氏、梅﨑さゆり氏は理事候補となるため、得票数 2 票で並んだ残りの 9 名を対象として、井上学会長の立ち合いのもと、奈良体育学会選挙細則第 4 条に基づく選挙管理委員会による厳正なる抽選（くじ引き）を実施した。その結果、北澤太野氏と藤原素子氏が当選となった。
※ 今回の選挙では、理事候補を先に決定した後に会計監査候補を決定した。しかしながら、奈良体育学会選挙細則には、理事候補と会計監事候補のどちらを優先して決定するかの記述がないので、今後、記述をすることを検討しても良いと考える。
理事長からの報告を受けて、理事の中から以下のような意見が出された。
※選挙で同点位の場合に抽選で理事候補を決定しているが、若手の積極的な登用を進めるためにも選挙管理委員会や理事会の合議で理事候補を決定することも検討したら良いのではないか。

2. 会員の動向（2026 年 4 月 1 日現在）（敬称略）
理事長より、以下のように報告がなされた。
（本部）日本体育・スポーツ・健康学会の会員：正会員 77 名、名誉会員 4 名、計 81 名
（支部）奈良体育学会のみの会員：正会員 5 名、名誉会員 2 名、計 7 名

＜入会者（2025 年度）＞
（本部）平野貴也、山口裕士
（支部）小山結美佳、太田悠貴

＜退会者（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 4 月 1 日）＞

- 日本体育・スポーツ・健康学会から連絡あり 5 名
  （本部）青木惠子、白石晃、吉岡豊城、三宅智子、田中紀行
- 会費未納（2024 年度以降の 2 年度連続）4 名
  （本部）玉川佳奈妥、永良芽依
  （支部）安福洋一、荒内来美

〇審議事項

１．新入会員の承認

理事長より、以下の 2 名の新入会員の連絡があったことが報告され、承認された。
日本体育・スポーツ・健康学会から連絡あり 2 名（2026 年 5 月 12 日現在）
（本部）王藝珏（天理大学）、前埜有咲（奈良女子大学）

２．令和 7 年度活動報告

理事長より、令和 7 年度活動報告がなされ、承認された。

1）奈良体育学会会報発行
第 96 号：学会大会案内号
第 97 号：学会大会プログラム号

2）奈良体育学会総会・学会大会開催（11/24@奈良女子大学）
シンポジウム「奈良マラソンの歩みと未来 － 市民スポーツイベントの持続可能な運営を考える」
参加者 35 名（健康なら 21Step アップ事業参加者を除く）

3）『奈良体育学会研究年報』第 30 号刊行（2026 年 3 月）

4）ホームページの運用

5）令和 8・9 年度奈良体育学会役員選挙

３．令和 7 年度決算案　別紙（令和 7 年度奈良体育学会一般会計報告書）参照。

事務局から決算の内容と、会計監査終了の報告があり、承認された。

４．令和 8・9 年度新役員の選出および事務局体制について（敬称略）

令和 8・9 年度新役員、事務局体制について、以下のように決定された。
あわせて、奈良体育学会会則第 24 条に基づき、事務局の会則の事務局所在地の変更（旧：奈良教育大学⇒新：天理大学）について、承認された。

幹 事 校：天理大学
会　　長：寺田和史（天理大学）
副 会 長：石坂友司（奈良女子大学）
理 事 長：田里千代（天理大学）
理　　事：石坂友司（奈良女子大学）、井上邦子（奈良教育大学）、梅﨑さゆり（天理大学）、
　　田里千代（天理大学）、寺田和史（天理大学）、中谷敏昭（天理大学）、
　　星野聡子（奈良女子大学）
会計監査：北澤太野（天理大学）、藤原素子（奈良女子大学）

事 務 局（幹事）
庶務幹事：梅﨑さゆり（天理大学）
会計幹事：梅﨑さゆり（天理大学）

５．令和８年度の事業計画

理事長より、令和８年度の事業計画が提案され、決定された。

1）奈良体育学会会報発行

第 98 号：学会大会案内号

第 99 号：学会大会プログラム号

2）奈良体育学会総会・学会大会開催

3）『奈良体育学会研究年報』第 31 号刊行（2027 年３月）

オープン・ジャーナル＋保管用冊子 20 部（投稿者へも冊子配布）

4）ホームページの運用

６．令和８年度予算案

理事長より、令和８年度予算案が提案され、決定された。

［一般会計］

＜当期収入＞

項目	金額	備考
会費	¥129,000	R7 年度会費納入金額相当
補助金	¥67,000	本部に申請中(助成見込み額、申請は 10 万円)
大会参加費	¥0	R5 年度より参加費無料
雑収入	¥0	
利子	¥0	
合計	¥196,000	

＜当期支出＞

項目	金額	備考
会議費	¥6,000	
事務費	¥30,000	HP 管理運営費含む
通信費	¥35,000	
学会大会・例会費	¥20,000	若手研究奨励賞副賞を含む
研究年報作成費	¥50,000	PDF 編集ソフト等購入費含む
アルバイト料	¥10,000	
講演謝礼	¥45,000	
合計	¥196,000	

当期収支差額　¥0

前期繰越額　¥572,427　内訳：総合口座 134,816 円，振替口座 423,518 円，現金14,093 円

次期繰越額　¥572,427　予備費支出とする

別紙）令和 7 年度奈良体育学会一般会計報告書

2025（令和7）年度奈良体育学会一般会計報告書(案)

R8.3.31 時点

＜収入＞　　（単位：円）

項　目	予算額	決算額	比較増減	備　考
会費	124,500	129,000	4,500	86名＊1,500円
補助金	67,000	67,000	0	JSPEHSSより67,000円
学会大会参加費	0	0	0	
雑収入	0	522	522	
利子	0	294	294	
当期収入合計	191,500	196,816	5,316	

＜支出＞

項　目	予算額	決算額	比較増減	備　考
会議費	10,000	4,710	△ 5,290	
事務費	30,000	23,520	△ 6,480	
通信費	30,000	31,801	1,801	
学会大会・例会費	20,000	10,000	△ 10,000	
研究年報作成費	60,000	49,500	△ 10,500	
アルバイト料	20,000	10,000	△ 10,000	
講演謝礼	50,000	0	△ 50,000	
予備費	476,642	0	△ 476,642	
当期支出合計	696,642	129,531	△ 567,111	

当期収支差額	67,285	
前年度繰越額	505,142	
次年度繰越額	572,427	(内訳：総合口座134,816円，振替口座423,518円，現金14,093円)

7

令和5年度奈良体育学会基金報告書

R8.3.31

（単位　円）

前年度繰越金	収　入		支　出	現在高	備　考
	積立金	利息			
300,000	0	0	0	300,000	R8/3/31現在高

７．令和 8 年度の学会大会・総会について

令和 8 年度の学会大会・総会について、11 月 22 日（日）に奈良女子大学で開催されることが決定された。また、シンポジウムのテーマについて意見がいくつか出され、次回の理事会において検討することとなった。学会大会での若手研究奨励賞、学会大会・総会後の懇親会については昨年度と同様に実施することが確認された。

８．その他

例年 7 月下旬に開催している第 2 回理事会については、日程およびオンラインでの開催か否かを含め改めて調整する。

以上

Ⅱ． 令和８年度　奈良体育学会第２回理事会議事録

日　時：2026 年 7 月 28 日（火）　18:00～18:45
場　所：Zoom オンライン開催
出席者：石坂友司、井上邦子、梅﨑さゆり、田里千代、寺田和史、中谷敏昭、星野聡子
　　（五十音字順・敬称略）

〇報告事項
１．会員の動向
２．令和８年度地域協力学会助成金・会費について
３．　日本体育・スポーツ・健康学会代議員選挙（投票期間７月１日～７月 31 日まで）

〇審議事項
１．令和８年度の事業計画について
(1) 奈良体育学会会報発行
　第 98 号：学会大会案内号（メールにて送付）
　第 99 号：学会大会プログラム号（メールおよび郵送にて送付）
(2) 奈良体育学会総会・学会大会開催（11/22@奈良女子大学）
(3) 若手研究奨励賞（副賞１万円）
(4) 『奈良体育学会研究年報』第 31 号刊行（2027 年３月）
　オープン・ジャーナル+保管用冊子 20 部（投稿者へも冊子配布）
　なお、〆切についてはおおむね 1 月末、また印刷所との関わりで 3 月 31 日までに印刷が完了できるスケジュールを確認することとなった。
(5) ホームページの運用
(6) その他　特になし

２．学会大会について
(1) 開催時期
　2026 年 11 月 22 日（日）奈良女子大学
(2) 大会シンポジウムについて
　・R9 年度に向けての提案：
　石坂理事より、来年度のテーマとして次の２つについて提案があった。①「健康増進」イベントや QOL に関わる奈良県の自治体、大学との連携での取り組みについての現状把握と県の関係者をお招きしてディスカッション、②レジャー、地域起こし的な取り組み（奈良県南部、奥大和、下北村など）、特に地域と大学とが連携して行っているような取り組みについての紹介とディスカッション。来年度に向けて継続的に検討することとなった。
　・R8 年度：
　リカレント教育関連（大学院教育）での内容の提案があったが、これに限定せずに会長、事務局で検討し、後日、理事の方々に提示することとなった。
(3) 若手研究奨励賞について
　　副賞 1 万円の贈呈を行う。
(4) 懇親会について
　　学会大会後に実施する。

3. 入退会について
　特になし。

4. 地域協力学会連絡会議（8/31 12:40-13:40）について
日本体育・スポーツ・健康学会第 76 回大会中
日時：2026 年 8 月 31 日（月） 12 時 40 分～13 時 40 分
会場：札幌コンベンションセンター 2 階 207
田里理事が出席。

5. その他
次回の第３回理事会の日程：2026 年 11 月 22 日（日）学会大会開始前（11：30～）を予定

以上

会員の皆様へのお知らせ【重要】

※令和 4 年度以降の会報の発行について
学会 HP の運用が始まったことや、学会運営経費の削減のため、今後の会報の配布や学会事務局からの随時のお知らせは、順次、電子メールによる配信に移行させていただくことを考えています。その場合、日本体育・スポーツ・健康学会に所属されている方につきましては、そちらに届け出されているメールアドレスに送信いたします。

現時点でこちらがメールアドレスを把握している方につきましては、郵送と同時に電子メールによる会報の配布も行っています。電子メールにより会報が届いていない方や、奈良体育学会のみの会員の方でまだメールアドレスをお届けいただいていない方につきましては、別途、学会 HP から、または直接、学会事務局(narajimukyoku@nspehss.org)まで、メールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

※研究年報の発行について
研究年報につきましては、令和 5 年度よりオープン・ジャーナルとして刊行し、ホームページを通じての提供といたします（国会図書館を通じて ISSN 登録されます）。

※ 日本体育・スポーツ・健康学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ
令和 8 年度の年度会費 1,500 円をお納め下さい。2 年続けて年会費を納入しない正会員の方は退会とさせて頂きます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 ０１０００－２－２８１６９
加入者名 奈良体育学会